

# 令和3年度授業改善推進プラン（調査結果分析シート）

西東京市立田無第四中学校

## ●全国学力学習状況調査（小学校第6学年・中学校第3学年）

	課題が見られた問題の概要	正答率	調査結果を踏まえた成果	調査結果を踏まえた課題
国語	話し合いの話題や方向性を捉えて、話す内容を考える	70.9%	話し合いや文章を書かせる授業を意識的に行ってきた結果、話し合いに関する問題で都や全国と比較して10%近く高い結果を得られた。また、他の「書く」設問に関しても82.3%、84%と高い正答率を得られている。	今回敬語の設問に関して、2年生の範囲であったが、休校の関係で3年に持ち越し、授業が遅れてしまったことよって、極端に正答率が低くなってしまったのは反省点である。「書く力」は身につけてきているが、文章を読み、筆者の意見を踏まえて自分の考えを表現するところまでは、到達していないので、今後の課題である。
	相手や場に応じて適切に敬語を使う	30.3%		
	文章に表れているもの見方や考え方を捉え、自分の考え方をもち	24.0%		
算数・数学	問題の解決の方法を数学的に説明することができる	36.0%	普段から計算問題を多く解くことで、技能の問題で88.4%と全国より10.7ポイントほど高い正答率を得られた。表やグラフ、資料から必要な情報を読み取る知識・理解の問題でも95.4%と高い正答率を得られた。	見方や考え方の問題の正答率が全体的に低い。特に数学的な表現を用いて説明することに課題がある。今後は自分の考えや解き方を説明させる機会を多く作るとともに、日常生活に結びつけた文章問題を行っていく。
	相対度数の必要性和意味を理解している	37.7%		
	データの傾向を捉え、数学的に説明することができる	13.1%		